

後期高齢者健康診査のご案内

健診は1年に1回、からだをチェックする機会です。
持病の重症化を予防し、フレイル（加齢により心や
身体が弱っている状態）の芽をつみとりましょう。



- 後期高齢者医療の被保険者の方は、500円で受診できます。
（通常約 9,000 円の検査が 500 円になります。）
- 令和5年4月1日より、血液検査の血清アルブミンと貧血検査が追加となりました。
〔 認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクを高める低栄養状態と貧血の
早期発見につながります。 〕
- 必要時にはかかりつけ医の指示のもと、市町村の保健師や栄養士による保健指導やフレイルの相談を受けることができます。



健康診査を受けるには・・



- ※ 健康診査の受診票は、福岡県後期高齢者医療広域連合から対象者の方に送付しております。（長期入院及び一部の施設入所中の方は除きます。）
- ※ 集団健診については、中間市保健センター（093-246-1611）または中間市役所健康増進課（093-246-6246）へお問い合わせください。
- ※ 健康診査を受診する時は、「被保険者証」「受診票」「500円」が必要です。

【問合せ先】 福岡県後期高齢者医療広域連合 お問い合わせセンター
福岡市博多区千代4丁目1番27号 TEL 092-651-3111

健康診査でわかること



項目

ポイント

問診	「後期高齢者の質問票」 質問票でフレイルの危険性を確認できます。
身長・体重	「肥満より、やせに注意」 やせはフレイルをまねきます。
栄養・貧血 ●血清アルブミン ●ヘマクリット値 ●血色素量 ●赤血球数	「低栄養や貧血に注意」 低栄養や貧血は、身体的活動を低下させ、認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクが高まります。
血圧・脂質 ●コレステロール ●中性脂肪	「脳卒中や心筋梗塞の危険性」 高血圧や脂質異常は動脈硬化につながり、脳卒中や心筋梗塞などをまねきます。
糖 ●空腹時 ●HbA1c ●尿糖	「糖尿病の重症化に注意」 糖尿病の危険度を調べます。 血糖が高いと糖尿病のおそれがあります。
肝機能 ●AST ●ALT ●γGTP	「お酒だけでなく、薬の副作用の可能性も」 肝臓の機能をチェックします。たくさんの薬の服薬による副作用で、肝臓に負担がかかります。飲酒しない人も注意が必要です。
腎機能 ●クレアチニン値 ●尿蛋白 ●尿酸	「最悪の場合、人工透析に」 腎臓の機能をチェックします。 糖尿病や高血圧の人は特に注意が必要です。

後期高齢者健康診査では、フレイルリスクを確認できます。

☐	6ヶ月間で、2～3Kg以上の体重減少がありましたか
☐	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
☐	この1年間に転んだことがありますか
☐	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか
☐	週に1回以上は外出していますか

チェックしてみましょう

フレイルに関する項目です。
フレイルの可能性のある人も早期に対応することで、元の状態に戻れます。

「後期高齢者健康診査質問票」より一部抜粋

発熱時や体調不良時は、健康診査の受診はお控えください。

